



平成 31 年 4 月 15 日

**映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」監督の
信友直子さんが、母校広島大学附属中・高等学校で講演を行います。**

広島大学附属中・高等学校では、本校第 70 回（1980 年 3 月）卒業生で、映画監督の信友直子さんをお招きして、下記の通り記念講演会を行います。

信友さんは、娘である「私」の視点から認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」で映画監督としてデビューされました。

4 月 17 日は、広島大学附属中・高等学校が前身の広島高等師範学校附属中学校として創立された 114 周年の開校記念日です。本学では、開校記念式には毎年各界でご活躍の卒業生をお招きして、在校生向けに記念講演を行っています。

記

1. 日時 平成 31 年 4 月 17 日(水)
11 : 00~12 : 30 高校生対象（生徒約 600 人）
13 : 40~15 : 10 中学生対象（生徒約 360 人）
2. 講師 信友直子さん（映画監督、本校第 70 回卒業生）
3. 演題 「好きなことを仕事にするリスクと覚悟、そして喜び」
4. 場所 広島大学附属中・高等学校 講堂

（講師プロフィール）

1961 年 広島県呉市生まれ（57 歳）

1980 年 広島大学附属高等学校卒業

1984 年 東京大学文学部卒業

大学卒業後、森永製菓に入社し、広告部でコピーライターをしていたが、1986 年にテレビ業界に転職。最初はドラマ制作に携わっていたが、しだいにドキュメンタリーに惹かれてゆき、ディレクターとして番組を制作して 30 年あまり。北朝鮮拉致問題、ひきこもり、若年性認知症など、さまざまなテーマで 100 本近くの作品を作る。

45 歳で乳がんになり、闘病記録を自撮りしたセルフドキュメンタリー「おっぴいと東京タワー～私の乳がん日記」でニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞。

昨年 11 月、呉に住む認知症の母と老老介護する父を娘の視点で見つめたドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」で映画監督デビュー。

【お問い合わせ先】

広島大学附属中・高等学校 副校長 日浦美智代
Tel : 082-251-0192 FAX : 082-252-0725
E-mail : mcyhur@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4 版 1 枚（本票含む）